

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 翻訳センター  
 コード番号 2483 URL <http://www.honyakuctr.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 郁男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長兼総務部長 (氏名) 中本 宏

TEL 06-6282-5013

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,390	14.1	38	△34.5	37	△34.9	19	△33.5
24年3月期第1四半期	1,217	15.4	58	29.4	57	31.5	29	11.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 25百万円 (△15.8%) 24年3月期第1四半期 29百万円 (12.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	1,161.52	—
24年3月期第1四半期	1,747.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年3月期第1四半期	3,165		2,253		71.0	
24年3月期	3,431		2,304		67.0	

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 2,250百万円 24年3月期 2,301百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	4,500.00	4,500.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	4,500.00	4,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,800	11.8	110	△27.0	110	△26.0	60	△24.3	3,561.88
通期	6,000	8.3	490	11.3	490	11.4	260	14.1	15,434.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	16,845 株	24年3月期	16,845 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	— 株	24年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	16,845 株	24年3月期1Q	16,845 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
(5) セグメント情報等 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要などにより、景気は緩やかに回復しつつあるものの、欧州の債務危機を背景とした世界景気の下振れリスクや円高の長期化、国内の電力供給の制約などにより、依然として不透明な状況が続きました。このような環境のもと、当社グループでは、企業の積極的なグローバル展開に伴う翻訳案件の獲得に努めるとともに、翻訳サービスの高付加価値化と周辺業務の強化を図ってまいりました。その結果、当社グループの売上高は、前年同期比14.1%増の1,390百万円となりました。

分野別の売上の状況につきましては、特許分野は、特許事務所から電気関連の出願用明細書の受注が大幅に増加したことに加え、企業の知的財産関連部署との取引拡大が寄与し、売上高は前年同期比17.5%増の408百万円となりました。医薬分野では、複数のメガファーマから年間契約案件を獲得するなど、製薬会社や医療機器関連企業からの受注が順調に推移し、前年同期比9.9%増の431百万円となりました。工業分野では、自動車関連企業からの受注増加に加え、海外への工場移設関連資料の翻訳やローカライズ案件を獲得し、売上高は前年同期比25.8%増の378百万円となりました。金融分野では、金融機関およびリサーチ関連企業からの受注低迷とディスクロージャー関連資料の受注量減少により、売上高は前年同期比8.4%減の119百万円となりました。

利益面につきましては、本年5月に実施した大阪本社移転に伴う一時的な費用が発生したことなどにより、営業利益は前年同期比34.5%減の38百万円、経常利益は前年同期比34.9%減の37百万円、四半期純利益は前年同期比33.5%減の19百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,785百万円となり、前連結会計年度末に比べ272百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等の支払いや配当金の支払い、本社移転に伴う支払いなどにより現金及び預金が199百万円減少したほか、売掛金が89百万円減少したことによるものであります。固定資産は379百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加いたしました。これは主に本社移転に伴い建物附属設備が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,165百万円となり、前連結会計年度末に比べ266百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は767百万円となり、前連結会計年度末に比べ208百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等や買掛金が減少したことによるものであります。固定負債は144百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少いたしました。これは主に役員の退任に伴う役員退職慰労引当金の減少によるものであります。

この結果、負債合計は911百万円となり、前連結会計年度末に比べ215百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,253百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円減少いたしました。これは主に四半期純利益の計上19百万円および剰余金の配当75百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、現時点では平成24年5月11日の決算発表時に公表いたしました業績予想を変更していません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ268千円増加しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,970,624	1,770,987
受取手形及び売掛金(純額)	912,209	829,707
仕掛品	61,390	63,949
その他	114,441	121,163
流動資産合計	3,058,665	2,785,808
固定資産		
有形固定資産	48,712	79,796
無形固定資産	120,498	112,698
投資その他の資産	203,705	187,112
固定資産合計	372,916	379,607
資産合計	3,431,582	3,165,415
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	448,375	393,451
未払法人税等	134,644	20,125
賞与引当金	110,862	62,916
役員賞与引当金	37,800	9,600
その他	243,432	280,969
流動負債合計	975,114	767,063
固定負債		
退職給付引当金	104,005	107,389
役員退職慰労引当金	45,900	35,400
その他	2,325	2,034
固定負債合計	152,231	144,824
負債合計	1,127,345	911,887
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	588,443	588,443
資本剰余金	478,823	478,823
利益剰余金	1,245,216	1,188,979
株主資本合計	2,312,482	2,256,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,044	△851
為替換算調整勘定	△9,923	△5,216
その他の包括利益累計額合計	△10,968	△6,068
少数株主持分	2,721	3,350
純資産合計	2,304,236	2,253,528
負債純資産合計	3,431,582	3,165,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	1,217,575	1,390,190
売上原価	664,477	771,872
売上総利益	553,098	618,317
販売費及び一般管理費	494,816	580,163
営業利益	58,282	38,153
営業外収益		
受取配当金	60	500
受取手数料	192	192
その他	64	236
営業外収益合計	316	928
営業外費用		
為替差損	699	1,394
営業外費用合計	699	1,394
経常利益	57,899	37,687
特別損失		
固定資産除却損	245	—
特別損失合計	245	—
税金等調整前四半期純利益	57,653	37,687
法人税等	28,222	17,672
少数株主損益調整前四半期純利益	29,431	20,014
少数株主利益	—	448
四半期純利益	29,431	19,565

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	29,431	20,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△213	193
為替換算調整勘定	616	4,886
その他の包括利益合計	402	5,079
四半期包括利益	29,834	25,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,834	24,465
少数株主に係る四半期包括利益	—	628

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,184,905	27,239	1,212,145	5,430	1,217,575
セグメント間の内部売上高 又は振替高	832	12,083	12,915	2,397	15,312
計	1,185,737	39,322	1,225,060	7,827	1,232,888
セグメント利益又は損失(△)	64,204	1,481	65,686	△5,470	60,216

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	65,686
「その他」の区分の損失(△)	△5,470
セグメント間取引消去	137
のれんの償却額	△2,071
四半期連結損益計算書の営業利益	58,282

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,337,127	43,665	1,380,793	9,397	1,390,190
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,080	18,577	20,658	18,207	38,865
計	1,339,207	62,243	1,401,451	27,604	1,429,056
セグメント利益又は損失 (△)	32,384	8,340	40,724	△920	39,803

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	40,724
「その他」の区分の損失 (△)	△920
セグメント間取引消去	421
のれんの償却額	△2,071
四半期連結損益計算書の営業利益	38,153

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、「その他」に含めていた「派遣事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。